

# 中学生の保護者へ

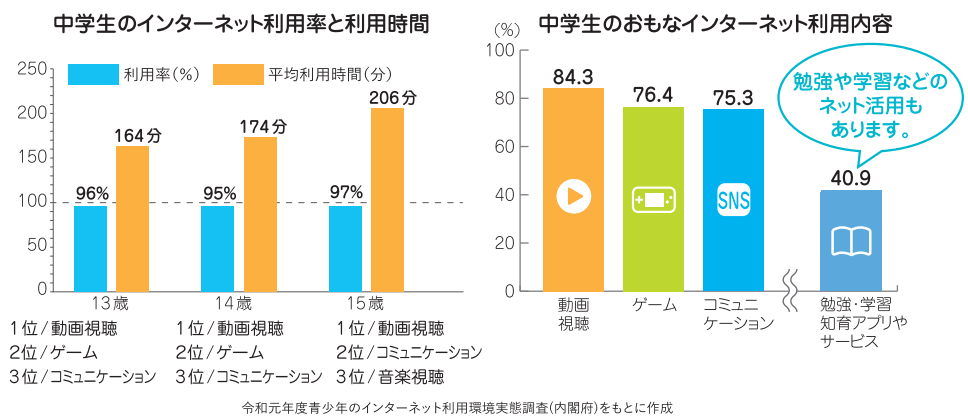


## 家族の会話が激減。

## SNSでのコミュニケーションは増加。

## いったいどうすればいいの?

メッセージアプリを使い始めるようになってから、子どもがスマホに夢中。メッセージのやり取りを介したトラブルやスマホ依存による学力低下など、中学生の保護者にとって使用時間の増加は悩ましい限りです。どのようなことに気を付けていけばいいのでしょうか?



## 子育てへのアドバイス

この時期の子どもは、心身ともに大人へ成長する「思春期」にあたります。家族とのコミュニケーションより、スマホ・ネットでの友達同士のつながりが増えてきます。保護者としては、子どもの心が見えにくく感じますが、あせらず、しなやかな親子の関係をつくっていくことが大切です。

### ふりかえってみよう

- 子どもへ声をかけるときは、寄り添った言葉がけを心掛けている。
- スマホ・ネット活用の好事例を知っている(学習動画、アプリ、スケジュール管理など)。
- スマホ・ネットモラルについて子どもや保護者が学べる機会を知っている。また、参加したことがある。
- 子どもと学校生活や友達関係などについて話す機会をもっている。



子どもはスマホの問題だけでなく、様々な悩みや心配事に直面しています。困った時に相談できる親子関係が大切です。反発した態度をとりながらも親の姿をよく見ているものです。相談してきたときにはしっかりと話を聞いてあげましょう。

また、体験活動やボランティア等、異年齢での活動で会う保護者以外に相談できる大人の存在は心強いものです。



裏面  
相談窓口へ